

ドラゴンボール超Z改GT～転生したら孫悟飯だった件～

神爪 勇人

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

孫悟飯に転生した主人公が生まれたのは、頻繁に主要キャラが死ぬ嫌な世界だった。

どんどんインフレが進み、主要メンバーすら置いて行かれるなんて当たり前の世界。

無理ゲー過ぎだろ。

目次

第1話	転生したら孫悟飯だった件	1
第2話	オラの悟飯を返せッ!!が始まって終わった件	4
第3話	伯父さん襲撃して原作ブレイクした件	7
第4話	もしかして結構ヤバいことになっているかもしれない件	10
第5話	話が進まないけど俺が生き抜く決意をした件	12
第6話	ちゃんと手順を踏んでいけばこの世界でもイージープレイ が出来る件	15
第7話	原作ブレイクで戦力が増えていくのに順調すぎて嫌な予感 が止まらない件	18
第2話		20
第3話		23
第4話		26

第1話 転生したら孫悟飯だった件

最悪だ。

それがこの世界に生まれた俺の心の第一声だった。
……どうやら俺は何やかんやあつて転生したらしい。
だってドラゴンボールだぜ？

惑星どころか宇宙規模で人が死にまくる世界だぜ？

オマケに主人公である悟空と、ライバルであるベジータ以外の古参
キャラはインフレに付いて行けずに置いて行かれる。

正直チート能力持つてても生きていける気がしねえ。

一刻も早く修行しなければ！



孫 悟空とチチの息子……孫 悟飯。

オス、オラ悟飯。

それが俺の名前だ。

何で俺が悟飯に転生したのかは知らんし、死んだ理由もイマイチ思
い出せない。

まあ、そんな事はどうでも良くて。

ああ、チチ……おかんが俺を学者にしたがつてたり、悟空……
親父が俺を武道家にしたがつてたりなんて些細な話だ。

どっちになりたいかと言えば武道家だが、それだけでは問題がある
のは親父を見れば一目瞭然。

だから働く位……自分の食い扶持くらいは自分で稼ぐつもりだ。

チチが偉い学者に成れというのも、親父が働かないのが原因で、学
者が稼げるからだろう。

何学者にしたがつているのかは知らんがな。

ま、気功術やら人体やらを対象にした学者なら、俺も興味があるが。

まあ、それもまたどうでもいい。

何だかんだ両親に愛情を持って育てられ家族3人仲良く暮らして
いたが、それも3歳になる間近の2歳の中頃まで。

喋ることが出来、自力で歩けるようになったため、俺は1人山の奥

(サイヤ人のハーフとはいえ子供だから距離は知れてるが)へ行き、修行する事にした。

親父は兎も角、オカンに見つかると面倒だからな。

だから親父が昼飯の調達、おかんが料理の準備をしている今の内に隠れてやるのだ。

オカンには昼寝していると思わせてるからな。

やるなら今の内だ。



押忍、オラ悟飯。

そんな日常が半年ほど続いた。

家族の目を盗んで、昼間や夜中に修行し、ちよつとずつだが確実に強くなっている・・・はずだ。

ある程度強くなってからは筋斗雲に乗って、ちよつと離れた山奥で修行し身体を鍛えていた為、並の大人よりは強くなっているはずだ。

流石に初期の悟空程ではないと思うが、戦闘力5には負けないと思う。

たぶん戦闘力7くらい？

尻尾を鍛えるトレーニングだつて忘れない。

出来る事なら大猿になって意識を保てるかとか試してみたいが、そんな事をすれば流石に親父達にバレる。

コレはサイヤ人が襲ってきたときにぶっつけて試すでしょう。

一応親父が1人で修行してるのを見た時に、親父の技は身に付けた。

覚えたのは、かめはめ波、残像拳、太陽拳、気合砲、衝撃波、舞空術の6つ。

ジャン拳とかも出来なくはないが、あまり役に立つとは思えん。

さて、かめはめ波とかを覚えたはいいが、身体の発達や気の総量や制御がまだまだ未熟な為か、威力も制度も低い。

まあ、コレは修行を続ければ時間が解決してくれるだろう。

そんな修行を続けて、時は俺が3歳になってから、俺の日常に変化が訪れる。



押忍、オラ悟飯。

相も変わらず、1人で隠れて山奥で修行していた深夜。
なんと親父が現れたのだ。

実は俺が1人でシコシコ・・・間違えた、コソコソと修行していたことに気付いていたらしい。

時が経つにつれて気がデカくなっていくから、気になって気配を消し後をつけ、しばらく隠れて様子を見ていたんだそうだ。

・・・ま、そりや気付くか。

寧ろ今まで気好かれなかったのがおかしかったんだ。

オカンにも知られたのかと思ったが、どうやら親父はオカンには黙っているらしい。

そして「母さんには内緒だぞ？」と、俺に稽古を付けてくれた。

どうやら親父も身体を動かしたくて仕方がないらしい。

喜々として俺と組み手を始めた。

これからもオカンに内緒で修行を付けてくれるようだ。

いや、まあ、たぶん強くなった俺と闘いたいかそんな理由なんだろうけど、俺としては早く強くなるに越した事は無いから大助かりだ。

此処は厚意？に甘えて色々教わろう。

悟飯なんてアルティメット化して最強になるけど、その後のGTで置いて行かれるし、生きてく為には修行を休む事は出来ないな。

そしてさらに1年が経過し、俺は4歳になった。

第2話 オラの悟飯を返せッ!!が始まって終わった件

「……………ハア」

押忍、オラ悟飯……………。

溜め息しか出なかった。

いや、だつてさ、4歳になったらラディッツがやって来てサイヤ人襲来篇になると思うじゃん？

そうじゃないんだもんよお。

時を少し遡り昼頃。

悟空と一緒に森の中で遊んでいた時、祖父である牛魔王が遊びに来たのだが、そこを何者かに襲われ、俺は攫われてしまったのだ。

俺の頭には四星球が付いた帽子がある。

それが狙われ、ついでに攫われたのだ。

その謎の敵が襲い掛かってきた時俺も戦ったのだが、余り歯が立たなかった。

まあ、確かピッコロも最初は負けた筈だから、俺が勝てないのも無理は無いのだが。

ネタバレすると謎の敵つつーのはガリックJr. という劇場版キャラだ。

時系列が少しパラレルってるが、大体サイヤ人襲来編開始の前後位だ。

どうやら原作開始前に、劇場版が始まったらしい。

親父やピッコロさん、クリリンさんが助けに来てくれて、俺も殴られた怒りやら酔っぱらった勢いで繰り広げた酔拳で戦闘に参加。

永遠の命を手に入れたガリックJr. をデッドゾーンに追いやり、なんとか戦いを終わらせることが出来た。

物語開始前から戦線離脱とか、俺の今後大丈夫か？



おーっす、オラ悟飯。

そして数日。

いったい何時になったらラディッツ伯父さんが来るのか分からないが、来るまでの間修行は続ける。

いや、来ても続けるけどね？

だって修行サボるとこの世界で生きていけないんだもの。

取りあえず修行してハンターで念能力な【ジャジャン拳】が使えるようになった。

ま、ドラゴンボールの世界的にはかなり簡単な部類の技だろうと思つて修行したら、なんか出来ちゃつた。

強化・変化・放出・操作はどうにでもなりそうだが、問題は具現化と特質だな。

特質はどうしようもないかもしれんが、具現化はたぶん会得可能だ。

と言つても、コレは修行に時間が掛かり過ぎるから、安易にどんな能力にするか決められないのが難点だが。

ま、今直ぐ決めなくてもいいか。

【カンムル神足】を覚えたいけど、アレつて拷問の電気受けないと無理なんだっけ？

たぶん受けても少し痺れるだけなんだろうけど、このサイヤ人ボデイなら。

でも拷問の電気つて何処で調達すれば………。

「あ、そっか。適当に電線引っこ抜けばいいのか」

家の近くには無いから、街に行つた時にでも試してみよう。

念能力はおそらく『気』と同じだから、習得可能なはずだ。

生き延びるために、力は色々身に付けた方がいい。

取りあえず修行を重ねて【釘パンチ】を撃てる様になつた。

コレはただの打撃技だし、コレもそこまで難しい技じゃ無かつた。オカンに隠れての親父と修行の日々が続き、戦闘力もさらに上がった事だろう。

そしていよいよ、この日が来た。

親父は俺を連れて、カメハウスへ向かうらしい。

・ ・ ・ ・ ・ てことは、アイツが来る。

ラディッツ伯父さん。

・ ・ ・ ・ ・ 本当に親父と同じ遺伝子なのか疑問だけどな、あの髪型見ると。

第3話 伯父さん襲撃して原作ブレイクした件

「マジダリイ……」

押忍、オラ悟飯。

亀ハウスで亀祖父ちゃんやクリリンさん、ブルマさんと挨拶し、俺はラディッツ伯父さんに誘拐された。

キヤー、変態伯父さんに犯されるー。

「あー……マジメンドクセエ」

折角原作が始まったんだし、Z編を初っ端から改変してやろうと戦いを挑んだが、瞬殺だった。

俺がな。

やっぱり修行したとはいえ、親父に遠く及ばない俺じゃ戦いにもならなかった。

殴られた頬が未だに痛い。

結局、原作通りに誘拐されちゃった。

「どーすっかなあ……」

俺は今、原作通り伯父さんの宇宙船であるポッドの中に居る。

結構硬くて力づくで開けられん。

いや、怒り爆発すれば打ち壊せるんだろうが、俺未だにそのパワーが出せねえんだよな。

泣いてブチ切れしたら出られるか？

けど泣いてブチ切れるつてのが未だに出来ねえんだよな。

取りあえず、親父とピッコロさんコンビの戦いを観察するかね。



さて、そろそろ親父とピッコロサンダーが殺されそうになっていく。

俺が「お父さんを……虐めるなああああああああああツ
!!!!!!」と叫んでポッドをぶち壊せば原作通りの流れに行ける
のだが、此処で問題が発生した。

さつきも言った通り、怒り爆発出来ねえ。

出来れば怒り爆発でぶち壊して飛び出し、そのまま伯父さんに特攻

かますのが理想なんだが、M禿伯父さんに特攻できるかどうか問題なんだよな。

ポットをぶち壊すだけなら、かめはめ波でもやれば壊せるだろうが原作を知ってる読者視点だからだろうか、あんまり熱くなれねえんだよなあ。

とはいえ、いつまでも脂売ってたら親父とピッコロサンダーが殺されちゃうな。

仕方ない。

「最初はグー………」

俺は拳を構え、気を拳に集める。

原作だと確か、悟飯はブチ切れてポットをぶつ壊して外に飛び出し、伯父さんの腹に頭突きで特攻かまして一撃与えて、後はやられて親父が伯父さんを捕まえて、ピッコロサンダーが魔貫光殺法で諸共ぶつ殺し、で終わりなはずだ。

取りあえず俺が此処から飛び出して、伯父さんに一撃与えたらそれでOKなはずだ。

手段は問題じゃないだろう。

では行くとするか！

「ジャン・ケン・グーッ!!!」

そして俺はポットをぶち壊し、飛び出した。

「[G:]」

驚愕する三人が此方を向く。

驚いている隙に一気に決める。

足裏に気を集中し、一気に放出。

縮地による瞬間移動。

一息に距離を詰めつつ拳に気を集中。

「もう一発！ ジャンケン——」

あ、ヤベ！

ちよつと勢い付け過ぎて少し跳び上がったしまった!?

いや、今更修正は効かない。

このまま決める！

「グーツ!!!!!!」

「グオアツ!!」

気を纏った俺の拳が、伯父さんの脳天に突き刺さった。
そして伯父さんはぶっ倒れた。

……………白目を剥いて気絶していた。

「……………アレ?」

原作だとダメージは受けても気絶はしなかった。

親父が死なないと界王様の所で修行出来ない。

てことは、界王拳と元気玉が使えない。

つまりはベジータを倒せないって事に……………。

「……………もしかして俺、やっちゃった?」

第4話 もしかして結構ヤバいことになっているか もしれない件

押忍、オラ悟飯。

いやあ、めえつたぞ。

ラディッツ伯父さんにぶちかまして気絶させちまった。

つまり親父もピッコロサンダーも生きてる。

このままM秃伯父さんをぶち殺すのは俺でも容易い。

つまり、親父が死んで界王様の所で修行することが出来ない。

それはつまり、界王拳も元気玉も会得出来ないことを意味する。

それってつまり・・・ベジータとナツパに勝つことが出来ない可能性が高いという事だ。

・・・いや、あのツルツパゲなら頑張れば行けるかもしれないが。

「・・・倒したのか？」

「いや、まだ生きてるみてえだけど・・・」

ピッコロと親父がヨロヨロと寄ってくる。

うん、ホントマジでどうしょ。

原作主義者って訳じゃねえから別に原作ブレイクは大いに結構なんだが、それでも原作の流れを変えて俺達が・・・いや、俺が死ぬのはマズい。

だって出来れば死にたくないじゃん？

いくらこの世界だとドラゴンボールで生き返ることが出来るとはいえ、俺はともかく、親父達が死んだらドラゴンボールを使う人が無事とも限らないし。

「今の内に殺しておくべきだな。起きたら手が付けられんぞ！」

「いやあ、でも気絶した奴殺すつてのはなあ・・・」

現実的な意見をするピッコロさんと、呑気な反応をする親父。

ったくよお、こっちは冷や汗流しながら必死に頭捻ってるっていうのに呑気なもんだぜ。

どうする？

いつそ復活するのを待って親父が死ぬ展開に持つて行くか？

いや、でもどうやって2人を説得するかだよなあ・・・親父はチョロそうだが、ピッコロを説得できる気がしねえ。

「ぐ、ぬ・・・う・・・」

気絶した伯父さんが目を覚ましたようだ。

よし、不謹慎かもしれないが、後は親父が原作ヨロシク伯父さんを背後から押さえてピッコロが2人纏めて殺してくれば、全て丸く収まるな。

伯父が頭を押さえながらヨロヨロと立ち上がる。

「・・・此処は、何処だ？」

「・・・へ？」

何か狼狽えながら、そんなことを呟き出した。

そして俺達と目が合った。

「お前達は、誰だ？ いや、俺は・・・誰なんだ！？」

「・・・」

驚愕する俺達。

そして一番最初に口を開いたのは俺だ。

「・・・うそーん」

間の抜けた声が出るのも仕方ないだろう。

「ま、まさか、記憶を失っているのか!? そんな都合のいい事が起きるのか？」

「いや、でも確かオラも小さい頃崖から落ちて頭打って性格変わったって祖父ちゃんが言ってたぞ」

「・・・変わるのか、アイツの性格が？」

「良い奴になってつかもしんねえぞ！」

「それは流石に都合良過ぎだろう!？」

呑気に話す親父とピッコロサンダー。

め、メンドクセエ状況になって来やがった・・・。

第5話 話が進まないけど俺が生き抜く決意をした件

オッス、オラ悟飯。

いや、参った。

何が参ったって、ラディッツ伯父さんがまさかの記憶喪失だとう!？原作ではラディッツが死に、通信を聴いてたベジータとナツパがドラゴンボール目当てで約1年後に地球へやって来る事を知り、悟空は死んで界王様の所で修行し、悟飯はピッコロに鍛えられ、その他のZ戦士は神様の所や独自で修行し、襲来してくるベジータとナツパと戦う事となる。

だが、今ラディッツはぶっ倒れて記憶喪失となり、別にドラゴンボールの事は口にしていないから、そこまで急いでやってはこないと思う。

だって別にラディッツの敵討ちに燃えるような奴等じゃないだろうし。

まあ、弱虫ラディッツとはいえ、サイヤ人を倒した此方に興味を抱いて戦いを挑んでくる可能性は高いだろうが。

どっちにしろ、1年後にはやってくる可能性が高そうだ。

となれば、俺達は早急になんとか強くなるために行動を起こさなければならぬ。

「俺は、お前の……兄なのか?」

「おう、そう言ってたぞ」

「孫悟空とは、あまり似てないがな」

「そう言われっと、オラも自身ねえけどよ。コイツがそう言ってたんだ」

「俺も記憶が無いから何とも言えん。だが、確かに似てないな……髪型とか」

「オラもいつかそんな感じの髪型になんのかなあ……?」

「このアホな会話してる親父共をまずなんとかしないと。」

「……………で、どーすんだよ親父？」

「うん？」

「伯父さんの他にも後2人のサイヤ人がいるんなら、そいつ等が地球にやってくんのも時間の問題だろ？　んで、その2人は伯父さんよりもかなり強いときた。伯父さん1人に親父とピッコロさんの2人掛かりでもかなり苦戦したのに、どうやって対処するつもりなんだよ？」

「うーん……………」

親父は腕を組んで数秒考えこむ。

「……………やっぱ修行だな」

「いや、それは分かっただけど……………」

具体的にどうするかが問題なんだよなあ。

……………あ、でも待てよ。

確か親父は地球を救ってきた功績で界王様の所で修行が出来たんだよな。

ドラゴンボールで生き返ったのも確か界王様の所だし、死者か生者かどうかはあまり重要じゃないのか？

つまり、親父が界王様の所で修行するのは、今の所問題無し……………か。

「ところで伯父さんはどーすんの？　たぶん『貴様の様な敗北者は死ねえっ!!』とか言いながら殺しに掛かって来るけど（たぶん）」

「う、うむ……………」

何か伯父さんがジツとこっちを見てくる。

何だ？

「伯父さんかあ……………何だろうな、この心にジワジワとくる感覚は……………」

歳を取ったって事だよ、たぶん。

後、弟は嫁さん貰って家族を作ってるのに俺は……………的な感じか。

あ、ヤバい、何か泣きそう。

今俺少年だけど心が抉れそう。

「まあ、俺もお前達と戦うつもりだ。思い出せないからモヤつとする

が、弟とその家族が危険なら、兄として戦わない訳にもいくまい」

「伯父さん……」

ラディッツの心がマジで穏やかになってやがる。

……これもしかしてナツパとかも頭ぶん殴ればこんな感じに
なんのかね？

「……やってみるか？ 俺が生き抜くためにもいい感じの仲間手駒
は多いに越した事は無いし」

「おい孫悟空、あのチビ本当にお前のガキか？ 心に魔族の様な邪悪
さを感じるぞ」

「おう、オラの子だ」

ピッコロと親父が何か言ってるけど知ったこっちゃねえ。

俺が生き抜くことが大事なんだよ!!

第6話 ちやんと手順を踏んでいけばこの世界でも イージープレイが出来る件

「お前はコレから俺達と修行だ」

そういつてピッコロに連れて来られた俺は、ラディッツ伯父さんと共に荒野にいた。

あの後、飛行機？的なモノに乗ったブルマ達が様子を見にやって来て、記憶を失った伯父さんの事を説明。

その後、神様からテレパシー的なアレで俺達に話しかけて来て、俺達を神殿へと招こうとした。

理由は、親父は界王様の所で修行させることが出来ないかを閻魔の元へ行き、頼み込もうとしている事と、俺達（クリリン達Z戦士含む）に稽古を付けようという提案だった。

だが、ピッコロがそれを辞退した。

というのも、ピッコロが神様から教わる事等今更存在しないと断り捨て、自分の修行相手にラディッツ伯父さん、そしてラディッツ伯父さんに一撃食らわせた俺の潜在能力に目を付け、三人で修行する方が効率が良いと判断し、俺達三人はクリリン達と別れて修行することになったのだ。

クリリン達は原作通りに神様の所で修行するらしい。

その後に独自に修行するんだったか。

別に問題無いのだが、一つ気になることがある。

それは、ヤムチャが神殿にいなかったことだ。

天津飯とチャオズは伯父さんのスカウターを使ったクリリンが見つけて来た訳だが、ヤムチャだけは見つからなかったという。

原作外の事が起こり俺は首を傾げたが、神様が心当たりがあるらしく「放って置け」とのこと。

ま、栽培マンなんて雑魚にやられるヤムチャなんて解説役くらいしか出来る事ないし、別にいても居なくても変わらんだろうから、放置でいいか。

そして俺はある事をブルマの父であるブリーフ博士とカリン様にある頼み事をし、その後荒野に移動して今に至る。

今、俺はピッコロと伯父さんの2人掛かりに扱かれている。

そして俺がダウンしたら、今度はピッコロと伯父さんが互いに戦い組手を行う。

それを延々と繰り返している。

原作だと悟飯がある程度戦えるようになるまでに少し時間がかかったが、俺が転生して直ぐに修行に取り組める程度には事前に戦力を自主練で上げていたから、おそらく原作以上の戦闘力を身に付ける事が可能なはずだ。

もう既にラディッツ伯父さんが仲間入りという原作ブレイクをやってしまったているのだ。

今後どんな原作外な出来事が起こるか分からない。

打てる手は打っておかねば。



おーっす、オラ悟飯。

そんな修行を続けて早三ヶ月。

この短期間でもサイヤ人の修行は戦闘力が格段に上がるな。

ラディッツ伯父さんのスカウターで戦闘力を測りながら修行しているから、どれくらい伸びているのかが数値で判断できるのは良い。

さて、ようやくブリーフ博士に頼んだモノが完成したらしい。

それは、重力制御装置だ。

原作だと親父がナメック星に向かう時に宇宙船内に搭載された装置である。

親父は界王様の所で、地球の10倍の重力の負荷をかけながら修行してパワーアップしている。

ナメック星へ向かう時は100倍の重力で短期間に大幅パワーアップした。

ブリーフ博士に頼んで最大300倍の重力を発生させる部屋を作ってもらったから、今からそこで修行すれば原作以上に戦闘力を上げる事が可能になるはずだ。

まあ、仙豆を使った瀕死⇒超回復⇒瀕死のループ修行は出来ないだろうが、それでもベジータ達が来るまでまだ大分期間がある。

上手くいけば、原作で親父がナメック星に到着した時くらいまで戦闘力を上げる事が出来るかもしれない。

「原作知識があるところの世界でもワリとイージープレイ出来るもんだな」

それでチャツチャとベジータとナツパをボコボコにするとしよう。

第7話 原作ブレイクで戦力が増えていくのに順調すぎて嫌な予感が止まらない件

おつす、オラ悟飯。

伯父さんが記憶喪失になって親父も死ななかつたからドラゴンボールの事を知らず、ベジータとナツパが来襲すんのがホントに一年後か分からないから急にやって来てもいいように、最低でも仙豆を喰ってすぐに全回復できるように幾つかは常に取り置きしている。

戦闘中も仙豆が必要だからカリン様にサイヤ人襲来まで作れるだけ作って欲しいと頼んだが、何故か言われずとも作ってる上に、壺の中に大量の仙豆があつたのだ。

てつきりヤジロベーに食い尽くされたと思つていたのだが、なんでもヤムチャに頼まれたとかなんとか。

……なんでヤムチャがそんなことを頼んだのか。

もしかして……ヤムチャも俺と同じ転生者だったりするのだろうか？

俺がこの世界に転生したんだ、他にも同じような奴がいても全然不思議じゃない。

少なくとも俺が今まであつた人達にそれっぽい感じはしなかつたから除外してもいいと思うが、まだ天津飯、餃子、ヤムチャには会つたことないんだよな。

なら、そいつらが転生者つてのは十分にあり得る話だ。

転生者ならこの先の話を知っている可能性は高いし、仙豆なんて回復チートアイテムの重要性を理解してヤジロベーに食べられないように先回りするつてもおかしい話じゃない。

俺がこの世界に転生するよりも前の時代だし、俺じゃどうしようも出来ない問題だしな。

一度会つて話したいところだが、全く気配を感じない。

いつたどこで何をしているのやら……。

ま、いい。

そんな事よりも修行だ。

伯父さんがやってきてから半年ほどが経過し、神様との修行を終えたクリリン、天津飯、餃子、ヤジロベエがコツチに合流したのだ。

天界から此方の様子を窺っていた神様が、地球人組がこれ以上力を伸ばすならここで修行した方が良いとの事。

……確かに、地球で強くなるのは神様の下で鍛え上げるまでが限界だろう。

此方に合流するのはごく自然な考えだ。

ただ原作ブレイクが増えたなあと思わなくもない。

こいつ等が原作以上に強くなったらどうなってしまうのか。

……いや、伯父さんが死んでない上に味方になった以上今更か。

そんなことをぼんやり考えて修行し、更に一月程経過していたら、何か亀仙人がやって来た。

どうしたのかと聞いたら、なんと今までカリン様下で鍛え直し、更に天界へ赴き神様に修行を付けて貰っていたのだとか。

亀仙人が修行に合流して更には戦力として一緒に戦ってくれるとの事からクリリン達は大喜びだったが、俺は終始ポカーンとしていた。

ま、まさか亀仙人が修行してドラゴンZチーム(仮)に合流するとは……俺、またなんかやっちゃいました？

いや、亀仙人に関しては俺何もしてないのだが、原作ブレイクの影響か？

……戦力が増える分には何も困らないから良いのだが、同時に何か嫌な予感がヒシヒシとしてきた。

「この原作ブレイクの揺れ戻しとか無いよな……？」

俺は恐々としながら、より修行に励むことになった。

第2話

「マジダリイ……」

亀ハウスで亀祖父ちゃんやクリリンさん、ブルマさんと挨拶し、俺と悟飯はラディッツ伯父さんに誘拐された。

キヤー、変態伯父さんに犯されるー。

「あー……マジメンドクセエ」

折角原作が始まったんだし、Z編を初っ端から改変してやろうと戦いを挑んだが、瞬殺だった。

俺がな。

やつぱ修行したとはいえ、親父に遠く及ばない俺じゃ戦いにもならなかった。

殴られた頬が未だに痛い。

結局、悟飯と一緒に原作通りに誘拐されちゃった。

その悟飯は、今俺の横でビービー泣いている。

泣き虫なのは知ってるが、お前もうちよつとしやんとしろよ男なんだから。

そんな俺達は今、伯父さんの宇宙船であるポッドの中に居る。

結構硬くて力づくで開けられん。

いや、怒り爆発すれば打ち壊せるんだろうが、俺未だにそのパワーが出せねえんだよな。

悟飯が泣いてブチ切れしたら出られるか？

それまで待たなきゃならんのか。

取りあえず、親父とピッコロさんコンビの戦いを観察するかね。



「お父さんを……虐めるなあああああああッ！！！！」

遂に悟飯の怒りが爆発し、ポッドをぶっ壊してラディッツ伯父さんに特攻を仕掛けた。

俺がどれだけやつても壊せない位に頑丈だったのに、やはり悟飯の

怒りは凄まじい。

通常時の戦闘力は俺の方が上の筈なのにな。

俺も怒れば戦闘力を急激に跳ね上げる事は可能なはずなんだが、如何にも強い怒りというやつが湧いてこない。

何故だ？

殴られてイラツと来たが、それでも「ああ、やっぱ無理か」と、心の何処かで感じていたからか。

今この状況も、俺が何かしなくても何も問題無いという事が分かっているからか。

そのせいでやる気が出ないのかもしれない。

怒りが収まり、戦闘力が著しく下がった悟飯が伯父さんにボコられる。

それを助けようとかめはめ波を撃つが、簡単に弾かれた。

そーいや親父のかめはめ波も耐え切ってたな。

俺のかめはめ波が効く訳ねえか。

それでもまあ、一応今は俺の弟な訳だし？

ほっといても親父が助けに来てくれるのだろうか、このまま攻撃を再開する。

「ジャン拳、パー!!」

掌から圧縮した気弾を放つ。

それも簡単に弾かれるが、

「あいで」

その隙に背後に回り込み、

「グー!!!」

気を纏ったジャジャン拳のグーパンチ。

「グオッ!」

それが伯父さんの背にクリーンヒットし、苦しげな声が漏れる。

「こ……んのがキイツ!!!」

だが、直後ガスン!!と脳天を殴りつけられて、俺は地面に沈んだ。

あ、やっぱ無理だったか。

「このおっ!!!」

ゴキヤツ!!と、蹴りつけられた俺の首から変な音が鳴った。
あ、コレヤバ——。
そして俺は、意識を手放した。

第3話

率直に言おう。

伯父さんに殺されたわ、俺。

まったく、まだ4歳の甥っ子に容赦なさすぎじゃないですかねえ？

ま、そんなことより、死んでしまった俺がどうなったのかというところだ。

「こ奴らを界王様の元へ行かせることをお許しください」

神様に連れられて、親父と一緒にあの世に来ていた。

どうやら界王様の所で修行出来るらしい。

ま、強くなるには都合が良いのだろうが、下界が心配だな。

何もイレギュラーが起きなきやいいが……。



蛇の道を親父と一緒にランニング。

100万kmは伊達じゃねえな、先が全然見えねえ。

最初は舞空術で飛んできたが、流星に体力が持たねえからな。

地道に走っていくしかねえ。

そーいや、鬼の人に親父と一緒に伝言を頼んだんだが、ちゃんとやってくれるかな。

試したい事があって、亀祖父ちゃんに伝言を頼んだのだが……。

ま、思い付きみたいなのもんだから、伝わらなくても困る事は無いから別に構わんのだが。



走ってる途中で、蛇の道を掃除してる車を見つけた。

それを操縦してた鬼に乗せてもらうことになった。

今俺等が走ってる場所は、まだ四分の一くらいらしい。

流星100万km。

鬼の人に途中までなら乗っけてくれると言われ、俺と親父はお言葉に甘えることにした。

走り続けんのはしんどいわ。



「ありえねえ」

親父が車の上で昼寝して、地獄に落ちやがった。

俺も仕方なしに後を追う。

そこで赤鬼と青鬼とかと地獄で色々あったのだが、長いので省略。色々あったのだよ。

最後に食った『神精樹の実』は美味かった。



地獄にある実を食ってから、やたらと身体が軽い。

親父も同じみたいだったが、俺のパワーアップが尋常じゃないんだが。

なんか限界を超えた気がする。

……もしかして、適合食材的な感じだったのか？

ま、強くなったんならなんでもいいや。

途中で何か蛇姫とかいたけど、ま、それはどうでもいいか。

何だかんだで、俺と親父はようやく界王様が居る界王星へとやってきた。

初めてのせいとか、それとも戦闘力のせいとか、此処にやって来た瞬間、重力に身体を潰されそうになる。

ゴリラのバブルス君を界王様と勘違いしてる親父は放って置いて、まずは此処の重力に慣れよう。

少しずつ身体を動かし、重力を馴染ませる。

「……よし、だんだん身体が慣れて来た」

流星はサイヤ人。

- この辺の成長は早い。
親父がアホな事をしてる間に、界王様が現れた。
やれやれ、ようやく修行開始か。

第4話

界王の寒いダジャレを適当にやり過ぎ、修行を開始する。最初の関門でシャレで笑わせるとか言っていたが、笑いの沸点低すぎだろ。

親父の「布団が吹っ飛んだ」と「猫が寝ころんだ」と「扇子が見えん」とかで大爆笑だもの。

俺？ 俺は「ジジイが食ってもババロア」と「校長先生絶好調」と「暴君のハートがブローケン」で大爆笑でしたが、何か？



この地球の10倍の重力がある界王星で、最初に行う修行はバブルス君の捕獲。

中々厄介だったが、如何にか捕まえることが出来た。

バブルス君と追いかけてっこをしている内に、身体能力は大分向上したな。

気も上がっている。

さて、次の修行は、グレゴリーとやらの捕獲だ。

また捕獲かと言いたくなるが、まあ、重いハンマーを持って移動し、それで叩けという事で、更にパワーとスピードを鍛えるトレーニングなのだろう。

グレゴリーのスピードは凄まじく早く、ハンマーを持たなくても捕獲は難しい。

コレは少し時間が掛かるかもしれん。



如何にかグレゴリーを撲殺・・・いや、叩くことに成功した。

バブルスの修行と合わせれば1ヶ月くらい掛かったな。

だが、コレで大分戦闘力が上がっただろう。
ようやく界王様との修行が出来る。

定期的に下界の様子を界王様に探ってもらい、何かイレギュラーが起きていないかを聞いてみたが、今の所異常は無い様だ。

このまま何も起きなきやいいけどなあ。

劇場版キャラとか来ないでくれよ、マジで。

時系列がよく分かんねーからな。

ベジータとナツパらと一緒に来られたらたまんねーぜ。



界王様に界王拳と元気玉を教えてもらい、いよいよ修行も最終日。

此処に居る間に色々技も開発したし、たぶん何かしらのイレギュラーが起きたとしても対処出来るだろう。

……この世界だと、強くなっても油断出来ねえのが苦しいが。

スーパーサイヤ人に変身するのが一番良いのだろうが、流石に出来なかつた。

やはりそう簡単にはなれないか。

グルメ細胞もまだ悪魔が顔を出してない。

ま、でも気でナイフとフォークを使えるようになった。

手数が増えたのは良い事だ。

さて、コレで準備万端だ！

いつでもサイヤ人と戦ってやるぜ！！

と、息巻いていたのだが、サイヤ人が来るのは明日。

だが、此処界王星にくるまで半年も掛かったのに、界王様が俺達が地球に帰る時間を計算してなかつたらしい。

結構抜けてるよな……。

今の俺達が全力で飛ばせば2日で帰れるらしいが、それでも1日オーバーだ。

……間に合うといいけどな。

.